
プロジェクト管理支援パッケージについて

プロジェクト管理支援パッケージは、このような企業様にお勧めです

- 開発標準は制定済みだが、プロジェクトマネジメント標準はこれから制定しようとしている企業様
- 旧来のプロジェクトマネジメント標準を制定し直そうと考えている企業様
- CMMIの取得に向けて、開発プロセスの整備を考えている企業様
- 政府の調達規則として検討されているアード・バリューマネジメントによる進捗管理を導入されようとしている企業様
- 工事進行基準による計上に向け、アード・バリューマネジメントによる進捗管理を導入されようとしている企業様
- PMによってプロジェクトの品質にムラがあると感じている企業様

【プロジェクト管理支援パッケージについて】(1/2)

- ディアスクエア版 プロジェクト管理支援パッケージは、プロジェクトマネジメント・プロセスに必要な文書類のフォームテンプレート集と、詳細なWBS・アクティビティリストを作成してアードバリューマネジメントを行う詳細WBSツールで構成されています。
- テンプレート集は、PMBOKガイド第5版に登場するプロジェクト憲章や計画書など、各種プロジェクトマネジメント計画書や各種プロジェクト文書を容易に作成できるよう、各文書のレイアウトを文書ファイル形式で提供し、書き方のガイドやサンプルを記載したものです。
- PMBOKガイドに登場する文書とその項目を、PMBOKガイドで使用されている用語を用いてテンプレートを作成してあります。テンプレートに記載されたガイドに従いながら記載していくことで、PMBOKに準拠した実践的なプロジェクト文書が作成されます。
- 運営されるプロジェクトの実際と貴社標準(組織のプロセス資産)に従って、テンプレートを自由にカスタマイズ(テーラリング)してお使いください。貴社および貴社のお客様でお使いなれた用語に置き換えていただいてもかまいません。
- 対象プロジェクトはITプロジェクトを想定しています。一般のプロジェクトでも利用することは可能ですが、ITプロジェクトでより使いやすいように作成してあります。
- ユーザ企業様のプロジェクト、受託開発企業様のプロジェクトのいずれにおいてもご利用可能です。
- 本テンプレート集は、プロジェクトマネジメントのプロセスで定義する文書のテンプレート集であり、契約書など各社で規定されている文書や、プロダクト固有の仕様やテスト内容を記載する文書、IT開発工程を定義する文書などのテンプレートは含んでおりません。貴社固有のテンプレートをご使用ください。

【プロジェクト管理支援パッケージについて】(2/2)

- WBS、WBS辞書およびアクティビティリストについては、フォームテンプレートではなく、同梱の「**詳細WBSツール**」を用意してございます。詳細WBSツールは、より実務に沿った、より効率的なプロジェクト運営を行うことができます。IBM社製の「**Rational Team Concert (RTC)**」およびRational製品群を組み合わせると、システム開発と合わせてより包括的なプロジェクト運営が可能です。
- プロジェクト管理支援パッケージの著作権は、株式会社ディアスクエアに帰属します。
- 本プロジェクト管理支援パッケージは、貴社プロジェクトを強力にご支援致します。しかしながらそのプロジェクトの成功を保証するものではありません。プロジェクトマネジメントのベストプラクティスであるPMBOKガイドのご理解と、そこで定義されたプロジェクトマネジメント・プロセスの必要性をご理解いただき、よりよきプロジェクト運営がなされますよう、ご利用される方の自己責任の元で行ってください。
- ある程度PMBOKガイドをご理解いただいていると、テンプレート集と詳細WBSツールを利用しやすくなります。必要に応じてPMBOKガイド 第5版をご参照願います。用語集のテンプレートも用意し、必要な用語を登録してあります。プロジェクト固有の用語を追加してお使いください。
- 本パッケージのご利用は、プロジェクトマネジメントの実務経験をお持ちの方を対象としています。

【提供するテンプレート集】

次ページから、PMBOKガイド第5版に登場する各種プロジェクトマネジメント計画書、各種プロジェクト文書に対応するプロジェクト管理支援パッケージ テンプレート集の一覧表と、テンプレート集及び付録の利用順序を記載します。

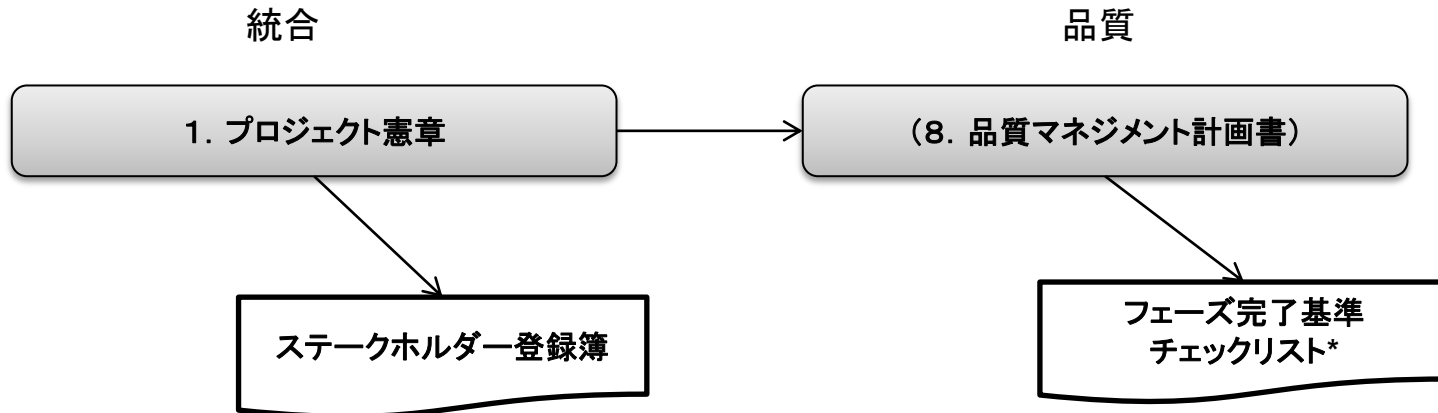
PMBOKガイドとの対応を、別紙「PMBOKガイドの各種計画書プロジェクト文書とプロジェクト管理支援パッケージとの対比表」(EXCEL文書)に記載してあります。ご参照ください。

対応表の中でプロジェクト管理支援パッケージの欄が「-」の文書は、テンプレートを用意しません。貴社標準テンプレートをお使いいただくか、プロジェクト固有の文書として作成してください。

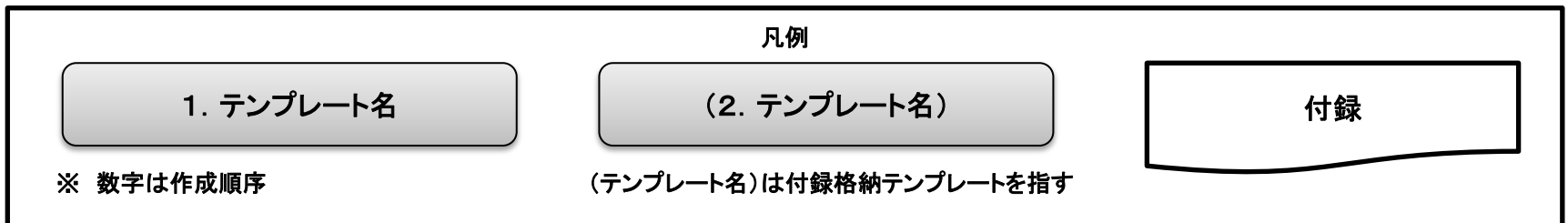
【提供するテンプレート集】

PMBOKガイド		プロジェクト管理支援パッケージ	
プロセス群	知識エリア	テンプレート	付録
立ち上げ	統合	プロジェクト憲章	ステークホルダー登録簿
計画	統合	プロジェクトマネジメント計画書	変更管理票(是正、予防、欠陥、更新) 課題管理表 連絡票 プロジェクト完了報告書 教訓登録簿
	スコープ	スコープ・マネジメント計画書	
		要求事項マネジメント計画書	要求事項文書 (要求事項トレーサビリティマトリックス)
		プロジェクト・スコープ記述書 詳細WBSツール	
	タイム	スケジュール・マネジメント計画書	
	コスト	コスト・マネジメント計画書	
	品質	品質マネジメント計画書	フェーズ完了基準チェックリスト
		プロセス改善計画書	
	人的資源	人的資源マネジメント計画書	
	コミュニケーション	コミュニケーション・マネジメント計画書	進捗状況報告書
リスク	リスク・マネジメント計画書	リスク登録簿	
		リスク発生確率毎対応状況表	
調達	調達マネジメント計画書	発注先選定基準 調達一覧	
ステークホルダー	ステークホルダー・マネジメント計画書	ステークホルダー関与評価マトリックス報告票	

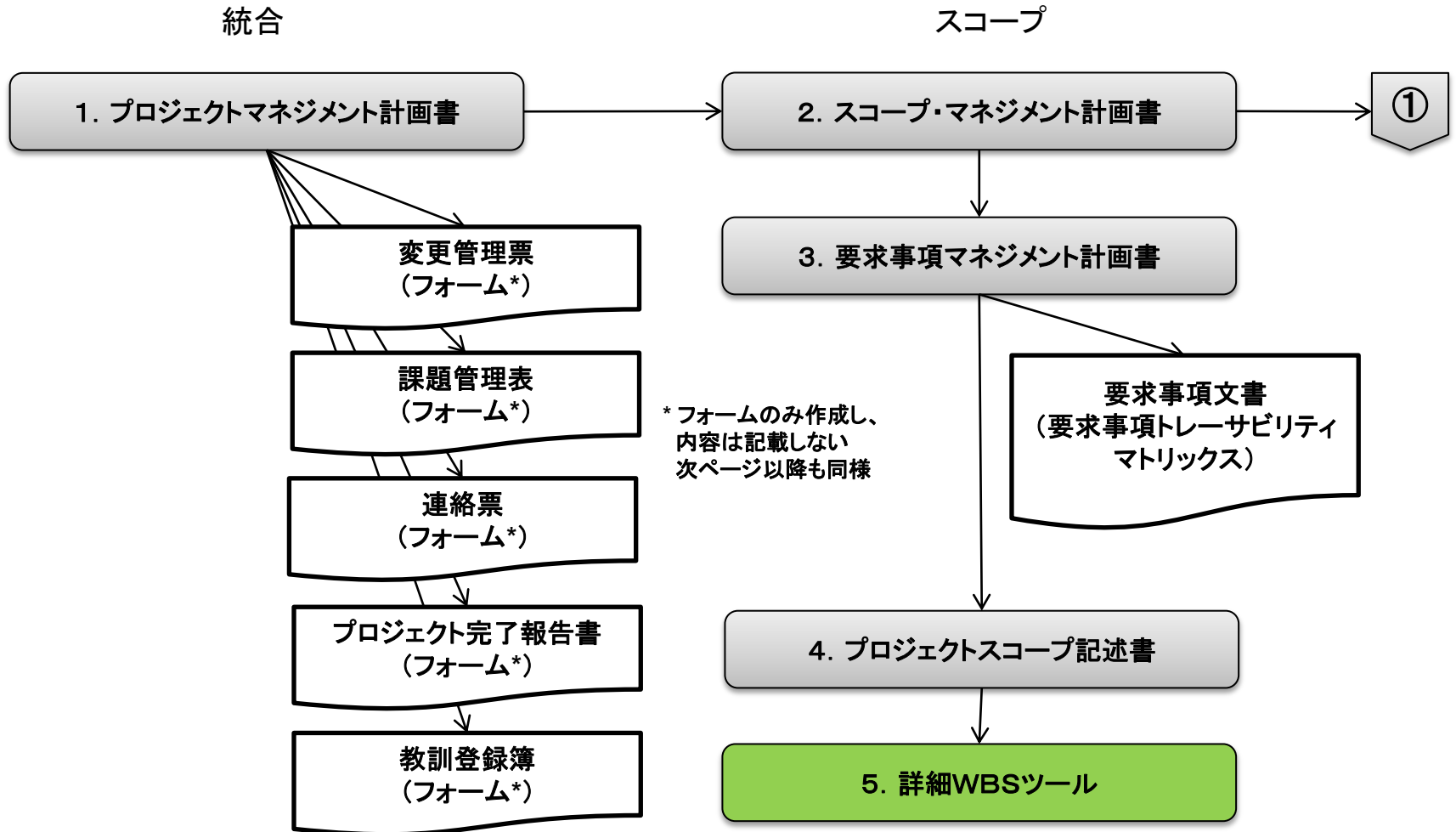
【テンプレート利用順序】 — 立ち上げプロセス群 —



* フェーズ完了基準チェックリストのみ作成する



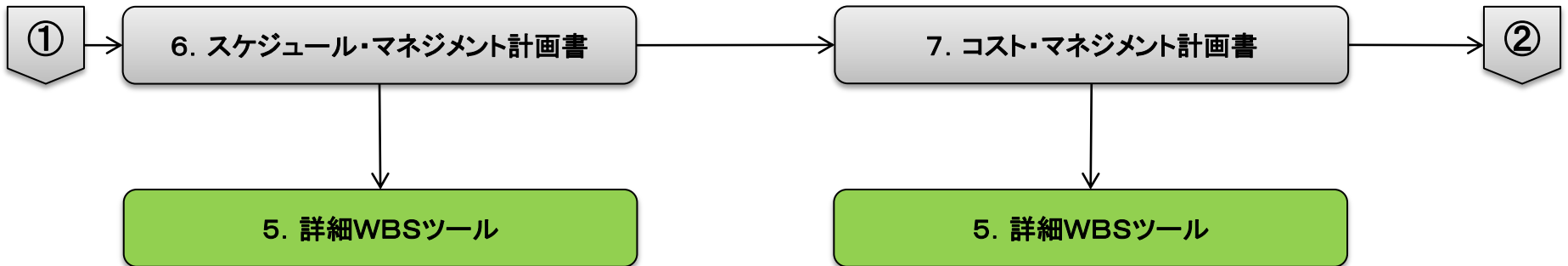
【テンプレート利用順序】 — 計画プロセス群 —



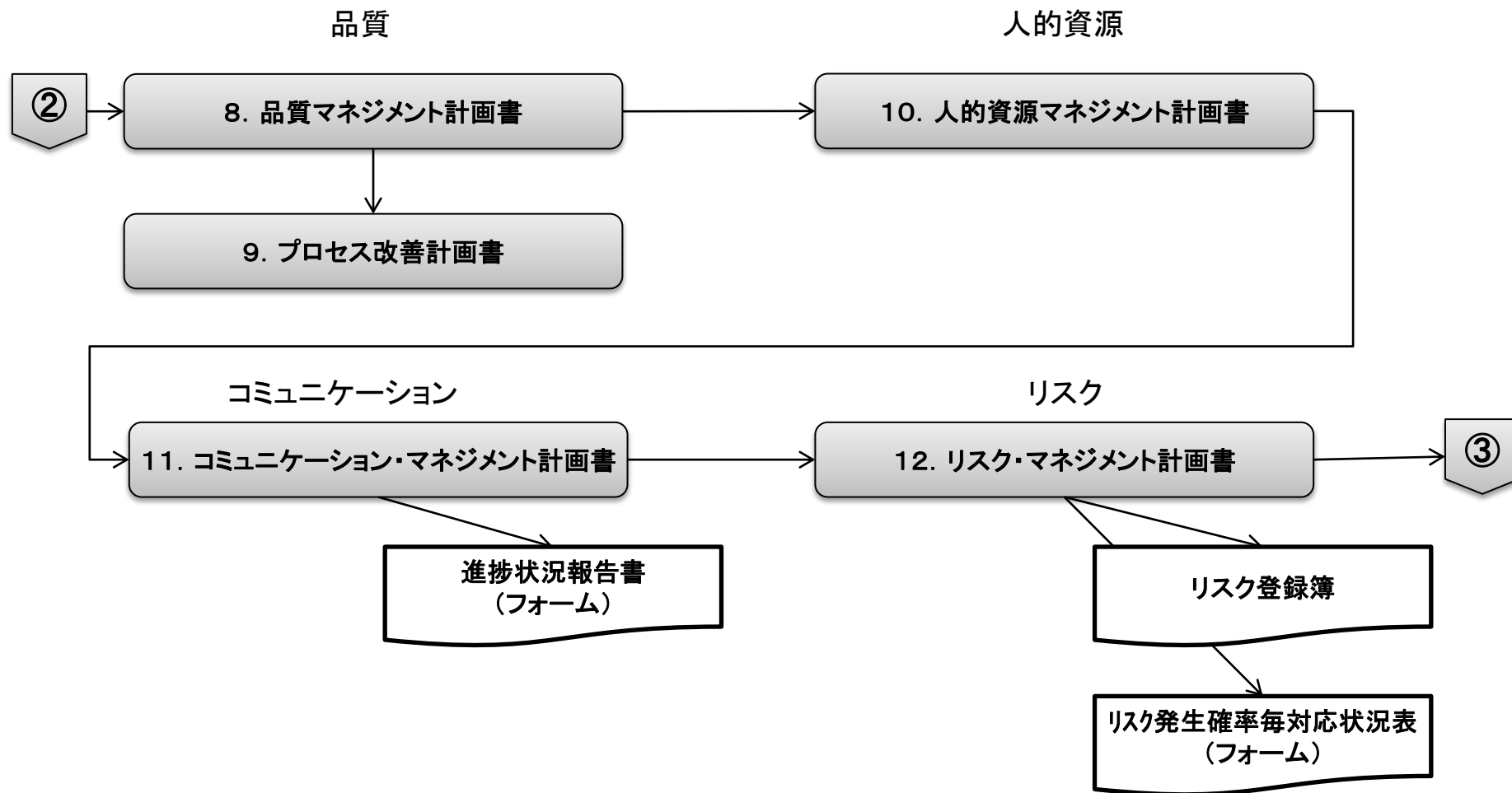
【テンプレート利用順序】 — 計画プロセス群 —

タイム

コスト



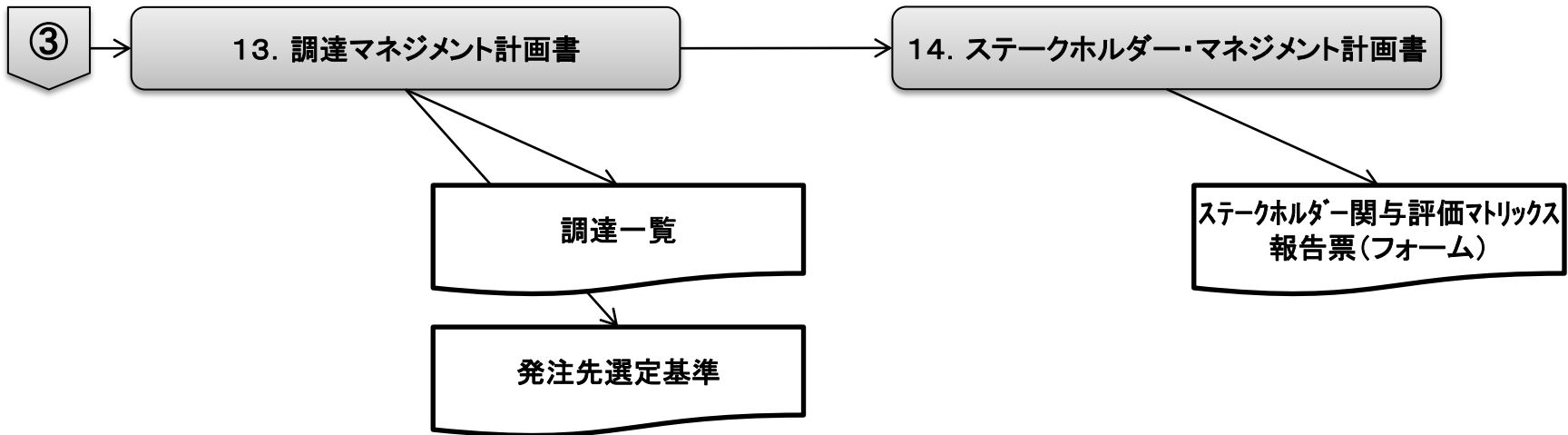
【テンプレート利用順序】 — 計画プロセス群 —



【テンプレート利用順序】 — 計画プロセス群 —

調達

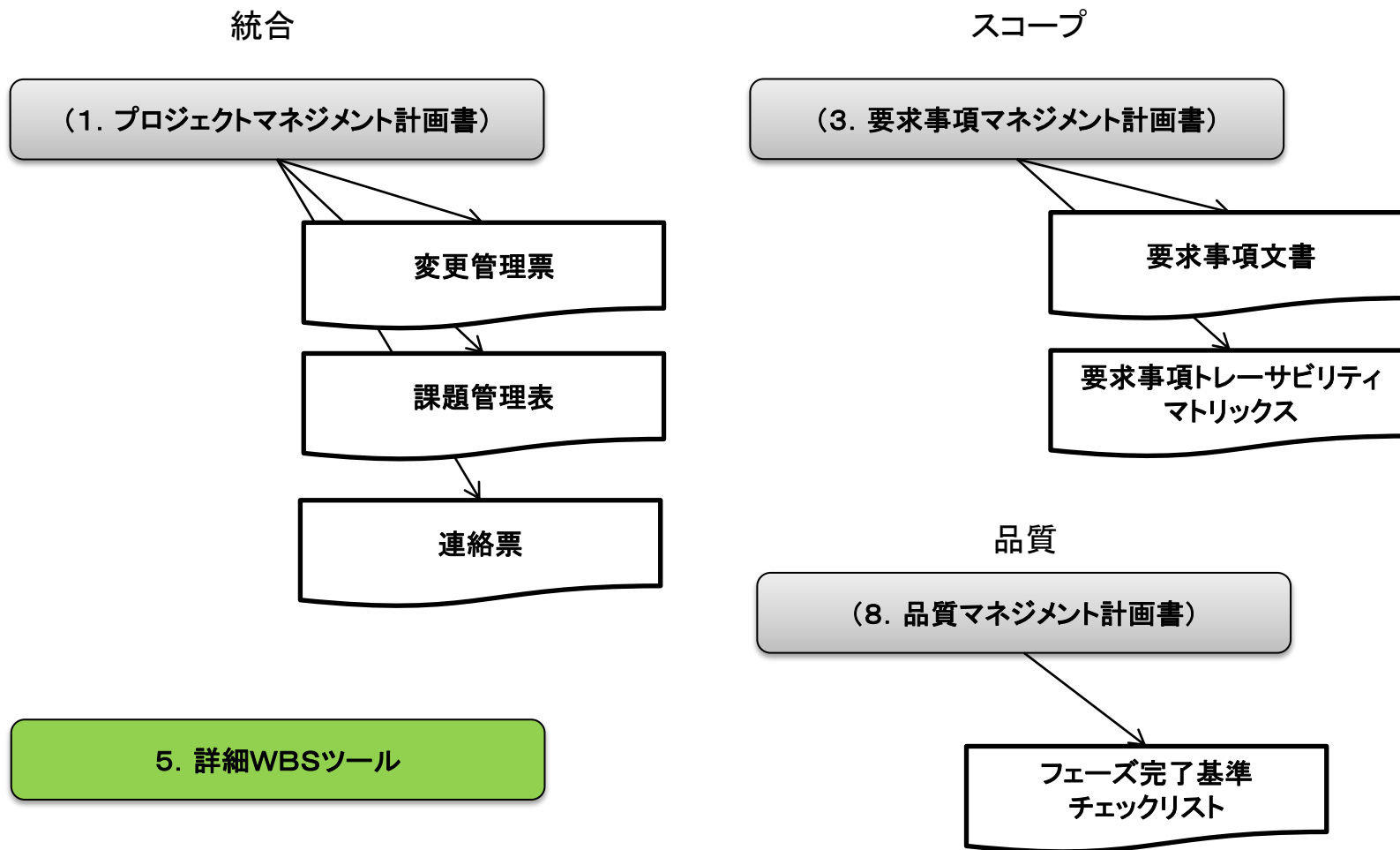
ステークホルダー



ただし、以下の7つの計画書の作成順序は任意です。順番を入れ替えても差し支えありません。

- 8. 品質マネジメント計画書
- 10. 人的資源マネジメント計画書
- 11. コミュニケーション・マネジメント計画書
- 12. リスク・マネジメント計画書
- 13. 調達マネジメント計画書
- 14. ステークホルダー・マネジメント計画書

【テンプレート利用順序】 — 実行／監視・コントロールプロセス群 —



【テンプレート利用順序】 — 実行／監視・コントロールプロセス群 —

コミュニケーション

(11. コミュニケーション・マネジメント計画書)

進捗状況報告書

5. 詳細WBSツール

リスク

(12. リスク・マネジメント計画書)

リスク登録簿

リスク発生確率毎対応状況表

調達

(13. 調達マネジメント計画書)

発注先選定基準

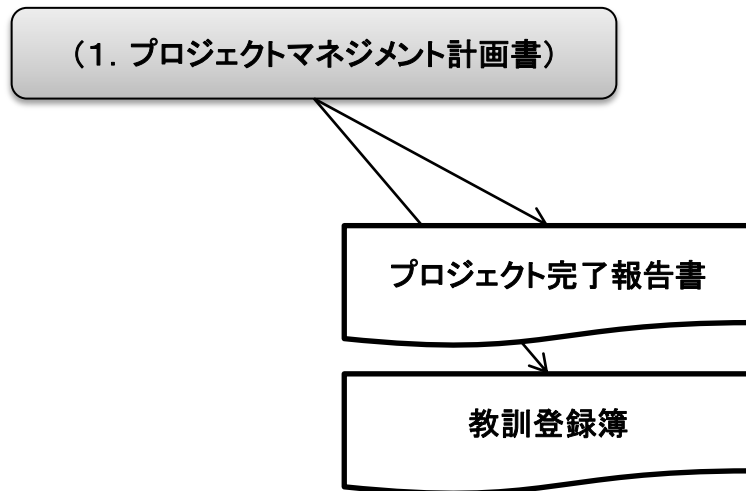
ステークホルダー

(14. ステークホルダー・マネジメント計画書)

ステークホルダー関与評価マトリックス
報告票

【テンプレート利用順序】 — 終結プロセス群 —

統合



【注意事項】

本書およびプロジェクト管理支援パッケージサンプルは、参照・引用を明示した部分を除き、当社独自の情報として、日本国著作権法により保護されています。本書の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を配布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。本書に記載されている情報は予告なしに変更される場合があります。

当社はこの資料の提供、内容、使用に関して、偶発的または結果的に利益の損失を含む損害を被ったとしてもその責任を負いません。

プロジェクト管理支援パッケージ(プロジェクト管理テンプレート、詳細WBSツール)の著作権は株式会社ディアスクエアに所属します。
Rational Team Concert(RTC)、Rational Requirements Composer(RRC)、Rational DOORS Next Generation(DOORS)、Rational Quality Manager(RQM)はInternational Business Machines Corp.(IBM)の登録商標です。
PMBOK、PMIはプロジェクトマネジメント協会の登録商標です。BABOKはInternational Institute of Business Analysis (IIBA) の登録商標です。

End Of Document